

保育原理
【ねらい】 「保育」について、意義・基礎的な考え方・内容と方法・歴史的変遷・現状と課題等を学び基礎的な知識を身に付ける。
【特色】 主体的に周囲の環境にかかわりながら日々成長していく「子ども」の姿を念頭に置きながら、「保育」について考える授業を展開している。
【内容】 ビデオ等を活用し、子どもたちの行動についての質疑応答を行い、子どもにとって必要なもの・情報・援助についての理解を深めていく。

教職概論
【ねらい】 教職概論は、教師を目指す学生が、教師とはどのような職業であるかを学ぶためのものである。そのため授業では、実際の教育や教師の考えている問題や課題などについて学ぶ。
【特色】 学校現場での教育課題や教師の仕事の実際を学ぶものであり、このことによって、教師を目指すものがどのような姿勢で生徒に対応するのか、また、その人生観や教育観について学び、専門職としての教職の理解を深めるものである。
【内容】 教師論、教育法規や教員の服務、人権尊重教育やいじめ問題等の教育課題

教育原理
【ねらい】 教育の基礎理論として、「教育とは何か」「なぜ教育が必要なのか」「教育についての歴史や方法」といった本質を理解する。
【特色】 具体的に幼稚園での現状や課題を踏まえての講義を行う。この講義により、今日の幼児教育の現状や課題を明らかにし、21世紀を担う子どもたちの指導・育成に対しての識見深めていく。
【内容】 教育の意義と目的、教育の必要性、保育者の役割、諸外国における教育の歴史、日本の教育の歴史、教育課程など

健康領域指導法演習

【ねらい】

保育者が保育現場で必要とする「子どもの心身の健康」について理解を深め、保育実践における基本的な視点について学ぶ。

【特色】

健康に関する基礎理論や、現代社会のなかで起きる様々な健康に関する諸問題を取り上げ分析し、子どもの健やかな育ちのために役立つ情報を提供しながら講義を進めている。

【内容】

子どもの心身の発育・発達、遊びの意義、食育、生活リズム、基本的な生活習慣、自立心の育成、病気の予防と衛生、安全教育、領域「健康」の指導案などを扱う。

人間関係領域指導法演習

【ねらい】

幼児期に人とかかわる力の育ちを、保育者としてどのように捉え、指導・援助していくかについて理解を深める。

【特色】

具体的な保育場面を想定して、保育者の関わり方を検討する授業を設ける。

【内容】

乳幼児期の対人関係の発達、幼稚園教育要領「人間関係」、保育所保育指針「人間関係」

保育指導法演習

【ねらい】

一人一人の幼児の育ちに添った適切な指導・援助ができる保育者を目指して、基本的な姿勢・技能を学ぶ。

【特色】

保育実践室を利用し、ロールプレイ等を行いながら実践的に学ぶ演習授業を展開している。

【内容】

指導案の作成と保育実践・評価・反省、ごっこ遊びの指導、劇遊びの指導、ゲームの指導等を教材作成等も含めて行っている。

幼児体育（運動あそび）・幼児体育（身体表現）

【ねらい】

幼稚園教諭、保育士として幼児を対象に運動遊びやダンス・表現運動などを指導する際の基礎的な理論や指導方法について深める。

【特色】

主に実技を伴う実践的な授業を行い、併せて指導方法とその理論を講義形式で行なう。

【内容】

子ども運動遊び、ダンス、表現運動、運動の発達、ダンス・表現の基礎理論などを扱う。

発達心理学

【ねらい】

発達心理学の基本的な知見を理解するとともに、行動科学的な視点を身につける。

【特色】

保育者養成の場であることを鑑みて、乳幼児期の発達に力点を置き、また、現実を生きる子どもの姿を発達臨床的に捉える視点を織り込んでいる。

【内容】

生涯発達の視点を踏まえつつ、発達規定因・初期環境・主要な発達理論や研究者・遊びの中での発達・発達援助の基本的な考え方などについて、できるだけ具体的な事例等を用いて講義する。

乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ

【ねらい】

乳児保育の変遷を知り、保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら地域ニーズや保護者対応など現代社会の実態に即した乳児保育の意義、理念、内容、方法、役割について学ぶ。

【特色】

乳児保育の実情や子どもたちの様子を入学当初の学生たちは理解できていない状態である。そのため、保育内容や意義を子どもたちや保育の実際の姿（現場での具体例）に置き換えながらの授業展開を試みている。そうすることで、学生の興味を引き出し、イメージアップを図ることも可能になる。パワーポイントや映像を活用し、現場で展開される保育内容を、より身近な子どもや保育者の姿として理解する効果を挙げている。

【内容】

乳児一人一人の個人差に応じて保育できるように、低年齢児の発育・発達の特徴を理解する。さらに、乳児保育に必要な原理や知識、技能を習得する。実際に保育士として保育を展開できるように、具体的な事例、演習を通して保育実践に役立つ専門的技術を習得する。

社会福祉

【ねらい】

社会福祉の全体像について講義を行い、「社会福祉」とは何かを理解し、その体系を知る。

【特色】

保育士必修科目として、1年時講義する。また、保育者として基本学問としてマスターし、個々の学生が興味を持った分野について他の科目と関連させ、学習の機会となることを望んでいる。

【内容】

社会福祉の歴史、制度・政策、援助方法、法体系や組織運営などを取り上げる。

造形演習

【ねらい】

これまでの造形学習の内容を基礎として、特に幼児教育に応用可能な造形表現技法についてより発展的・専門的に理解を深め、具体的な制作を通しての造形技法の修得を目的とする。幼児の美的感性、創造的姿勢の育成を目指した造形的な活動に用いる資料の作成や、指導の要点などについても考察を行い、造形指導におけるより現実的な力量の養成を目指す。

【特色】

本科目は、造形に関してより専門的なアプローチを試みようとする学生が、着実に学習内容を深めて行けるよう、立体または平面のコースを選択のうえ、少人数のゼミ形式で授業を展開している。このため、課題に応じて美術館見学等の学外授業も実施される。表現技法の修得と課題設定演習を通して、学生自身の問題解決能力・独自の観点・考察的姿勢等を伸ばすため、個別の指導が受けられるように構成されていることがこの科目の特徴である。

【内容】

立体クラスの課題

卓鈴おもちゃの制作・テラコッタ粘土を用いた制作・タタラ技法を用いた制作・課題設定演習

平面クラスの課題

・テンペラ画〈卵で作る絵の具〉・紙額制作・アートプロジェクト演習・課題設定演習

在宅保育

【ねらい】

子育て支援の一環としての在宅保育の位置づけ・必要性について理解を深め、ベビーシッターだけでなく施設保育者や在宅保育に関係する様々な人にも役立つように、理論と実践の両面から在宅保育を学ぶ。

【特色】

講義とグループワークによりすすめる。DVD など映像をとりいれて具体的にわかるようにする。また受講生同士が討議することによりお互いに理解を深める機会を提供する。

【内容】

ベビーシッターの社会的使命と役割や 在宅保育の特徴と意義を理解する。
在宅保育における事故の予防と対応や健康管理と病児保育・食育・乳児保育と産後ケア・送迎同行保育・グループ保育などを理解する